

## ◎ニフレック配合内用剤 [内]

【重要度】★ 【分類】経口腸管洗浄剤

【単位】◎1袋 137.155g

【常用量】1回 2L (1袋) [最大 4L] ■大腸内視鏡検査前処置：検査当日に投与する場合、当日の朝食は絶食（水分摂取のみ可）とし、検査開始予定時間の約4時間前から投与を開始する。検査前日に投与する場合：前日の夕食後は絶食（水分摂取のみ可）とし、夕食後約1時間以上経過した後、投与を開始する。ただし、前日の朝食、昼食は残渣の少ないもの、夕食は固形物の入っていない液状食とする。■バリウム注腸 X 線造影検査前処置：検査当日の朝は絶食（水分摂取のみ可）とし、検査開始予定時間の約6時間前から投与を開始する。溶解液の投与開始時にモサプリドクエン酸塩として20mgを溶解液（約180mL）で経口投与し、溶解液投与終了後モサプリドクエン酸塩として20mgを少量の水で経口投与する。■大腸手術前処置：手術前日の昼食後は絶食（水分摂取のみ可）とし、昼食後約4時間以上経過した後、投与を開始する。

【用法】1袋を2Lの水に溶解し、成人1時間当たり1Lの速度で経口投与。排便が透明になったら投与を終了 [4Lを超えては投与しない]

【透析患者への投与方法】減量の必要なし [吸収されない] (1) 透析患者では腸管内圧上昇による穿孔が起こりやすいので、硬便のある場合には取り除いてから投与する (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】大腸内視鏡検査、バリウム注腸 X 線造影検査及び大腸手術時の前処置における腸管内容物の排除に用いられる。

【主な副作用・毒性】腸管穿孔、腸閉塞（高齢者での死亡例が多く、排便、腹痛等の症状を確認し、腸閉塞でないことを確認した後に投与する）、嘔吐、嘔気

【吸収】ほとんど吸収されない

【備考】他成分等を添加した場合、浸透圧や電解質濃度が変化したり、腸内細菌によって添加された成分が分解され、可燃性ガスが発生する可能性があるため香料・矯味剤等を添加しない（医薬品・医療用具等安全性情報 No.160, 2000年）

【更新日】20160204

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。